

学会発表

(国内学会)

Neuro 2010 (日本神経科学会、日本神経化学会)

2010年3月3日

神戸市

(1) 5-HT_{2B}受容体による骨芽細胞分化成熟抑制機構の解明

西尾廣昭、平居貴生

日本薬学会第130年会

2010年3月28日～30日

岡山市

(1) イソシアネートを組込んだ2-アザヘキサトリエンに対するMW照射下熱電子環状反応を利用した縮合複素環化合物の合成研究

林 香里、東 修平、稗田雄三、町支臣成、日比野侑

(2) 脳神経保護作用を有するCarbazomadurin A, Bの合成研究

稗田雄三、町支臣成、東 修平、岸田早由利、藤岡晴人、日比野侑

(3) ベンゾフェナンスリジナルカロイドBroussonpapyrineの合成研究

東 修平、町支臣成、河野覚次郎、小野加奈子、堤 広之、石津 隆、日比野侑

(4) ビス(サイクレン)・二核亜鉛(II)とマロン酸が形成する錯体の構造解析

藤岡晴人、岸田早由利、石津 隆、城 始勇、小池 透、木下英司

(5) モンゴル産*Artemisia ordosica*由来のモノテルペン配糖体artemisiosideの化学構造

北村千浪、Daariimaa Khurelbat、前原昭次、大橋一慶、澁谷博孝

(6) カテキンガレートとカテキンのカフェイン錯体における結晶構造および分子間相互作用の解明

石津 隆、堤 広之、佐藤 隆

(7) エピカテキンガレートとエピカテキンのカフェイン錯体における結晶構造および分子間相互作用の解明

石津 隆、佐藤 隆、堤 広之

(8) 初代培養ラット肝細胞系におけるβ-ヒドロキシβ-メチル酪酸による肝性リパーゼの分泌促進

中村健志、中村徹也、藤田理恵、森田哲生

(9) 健康に対する生活習慣及びその認識から考察した薬学教育の効果

中谷吏菜、森田倫代、田畑真希、杉原成美、古野浩二

(10) N-Acetyl 5-Aminosalicilyc acid のCaco-2細胞における蓄積と透過に及ぼすフラボノイドの阻害効果

松村隆介、河野健太郎、中谷吏菜、杉原成美、古野浩二

(11) Caco-2細胞内で生成されたN-acetyl-5-aminosalicylic acid の細胞蓄積と排泄へのQuercetinの影響

山村 央、河野健太郎、中谷吏菜、杉原成美、古野浩二

- (12) Khon Kaen大学における薬学教育とタイの地域薬局の機能
杉原成美、中谷吏菜、古野浩二、菅家甫子、Aporanee Chaiyakum、
Denpong Patanasethanont
- (13) 疎水化高分子による難溶性薬物の可溶化
金尾義治、山本繁史、田中哲郎、鳥越進策
- (14) 噴霧乾燥キトサンの徐放性製剤基材としての評価
近藤裕子、安楽 誠、富田久夫
- (15) 抗酸化作用を有する多糖類の徐放性基材への応用
安福 平、藤井 武、近藤裕子、甲斐俊哉、丸山 徹、小田切優樹、安楽 誠、
富田久夫
- (16) 福山大学・高齢者関連施設・保育施設連携による一般用医薬品利用実態に関する調査研究
安楽 誠、井上裕文、佐藤英治、秦 季之、土谷大樹、岡村信幸、吉富博則、
近藤裕子、田中正孝、富田久夫
- (17) Dipeptidyl Peptidase III に対する過剰金属イオンの阻害反応機構
廣瀬順造、深澤加與子、兼清麻由子、神垣内宏司、秦 季之、小野行雄
- (18) バルプロ酸とテピペネムの相互作用
水上皓喜、本田真知子、片山博和、吉田久博、神谷 晃
- (19) 肺からの薬物吸収（9） — 高分子薬物の吸収促進について—
石川真理子、本田真知子、片山博和、高野幹久
- (20) パクリタキセル誘発過敏反応に対する前投与薬の検討
長谷悠紀、守田尚史、中國正祥、福本千裕、五郎丸剛、江藤精二

日本薬剤学会第25年会

2010年5月12日～14日 徳島市

- (1) PEG修飾疎水化ポリビニルアルコールのナノ粒子形成による難水溶性薬物の可溶化
山本繁史、鳥越進策、松井教正、内藤祐太、金尾義治
- (2) 機能性多糖類の体内動態と生分解性高分子担体としての利用性
金尾義治、田口恭子、川口未央
- (3) 抗酸化作用を有する低分子キトサンを利用した徐放性基材への応用
安福 平、安楽 誠、廣瀬順造、近藤裕子、富田久夫

第71回分析化学討論会

2010年5月15日～16日 松江市

- (1) イミダゾール化合物の選択的蛍光プレラベルHPLC分析法に関する研究（その1）
井上裕文、角南陽子、小嶋英二郎、伊達有子、鶴田泰人

第15回日本緩和医療学会学術大会

2010年6月18日～19日 東京都

- (1) 進行再発乳癌患者に対するEPA強化栄養剤の効果
三好和也、野村長久、中川富夫、荒川愉美子、前田由紀子、藤本泰子、森田哲生、大濱 修

第18回日本癌学会学術総会

2010年6月24日～25日 札幌市

- (1) 進行再発乳癌患者に対する免疫栄養療法の意義
三好和也、野村長久、中川富夫、森田哲生、大濱 修、宇田憲司

第20回金属の関与する生体関連反応シンポジウム

2010 6月25日—26日 徳島市

- (1) Dipeptidyl Peptidase IIIにおけるGlu512とGlu507は、亜鉛イオンとHis450およびHis455の配位結合を安定化させている
廣瀬順造、深澤加與子、秦 季之、小野行雄
- (2) Detection of metallo- β -lactamase producing bacteria by fluorescent probe having dansyl and thiol groups
松田幸喜、山口佳宏、廣瀬順造、荒川宜親、黒崎博雅

第4回瀬戸薬セミナー

2010年7月3日～4日 福山市

- (1) RCM反応を利用した新規カルバゾール類合成とMurrayaquinone合成への応用
西山卓志、町支臣成、日比野俐
- (2) Benzo[c]phenanthridine alkaloid, broussonpapyrine及びzanthoxylineの合成研究
石原裕介、町支臣成、日比野俐
- (3) マイクロ波照射下での新規縮合ピリジン誘導体の合成法の開発とインドロキノリン isocryptolepine合成への応用
林 香里、町支臣成、日比野俐
- (4) Indolocarbazole類K252cの全合成研究
宝来麻衣、町支臣成、日比野俐
- (5) 招待講演：マイクロ波を活用した電子環状反応の新展開
町支臣成
- (6) 新規抗マラリア薬を志向したキニーネ・ペプチド錯体
向田浩典、石津 隆
- (7) ガレートカテキン、非ガレートカテキンとカフェインの錯体構造
堤 広之、石津 隆
- (8) ビフェニルを架橋に持つ新規ビスサイクレンの合成と金属イオンとの相互作用
岸田早由利、稗田雄三、藤岡晴人

医療薬学フォーラム2010／第18回クリニカルファーマシーシンポジウム

2010年7月10日～11日 広島市

(1) 薬学部6年制5年生の課題研究発表

－エピルピシン後発医薬品の疼痛反応による安全性評価－

藤高里恵、林 優一、中國正祥、中原圭一、福本千裕、横山 舞、越智 良明、
有本早織、五郎丸剛、江藤精二

第24回キチン・キトサンシンポジウム

2010年7月13日～14日 東京

(1) 噴霧乾燥キトサンおよびキトサン有機酸塩を基材とする圧縮錠の薬物放出性の比較

富田久夫、近藤裕子、藤岡晴人、安楽 誠

(2) ヒトにおけるキトサンサプリメント摂取による抗酸化作用の検討

安楽 誠、安福 平、丸山 徹、小田切優樹、近藤裕子、富田久夫

第13回Vitamin E Update Forum

2010年8月20日 東京

(1) マウスメラノーマB16細胞中のメラニン含量並びにメラニン合成酵素に及ぼすトコフェロールの効果

小池泰介、道原明宏、神崎洋平、小川沙貴、赤崎健司

第69回日本癌学会学術総会

2010年9月22日～24日 大阪府

(1) 転移性乳癌患者に対するエイコサペンタエン酸強化流動食投与によるリポタンパク質代謝酵素の変動

森田哲生、虻川内-藤田理恵、大濱 修、三好和也

日本生薬学会第57回年会・第5回日中韓生薬学合同シンポジウム

2010年9月24日～26日 徳島市

(1) シンポジウム「薬学における漢方教育」漢方をやさしく理解してもらうための教育手法
岡村信幸

第25回日本薬物動態学会年会

2010年10月7日～9日 東京都

(1) Polyethylene glycol modified hydrophobized poly(vinyl alcohol) as a nanoparticle drug carrier for amphotericin B

山本繁史、鳥越進策、松井教正、末田美穂、内藤裕太、金尾義治

第43回日本薬剤師会学術大会

2010年10月10日～11日 長野市

(1) 市民の薬剤師の仕事に対する認識度調査

串田慎也、金光瑞恵、横田いつ子、田辺ナオ、上敷領淳、古野浩二、杉原成美

第40回複素環化学討論会

2010年10月14日～16日 仙台市

(1) マイクロ波照射下での新規縮合ピリジン誘導体合成法の開発とインドロキノリン isocryptolepine合成への応用

林 香里、小田愛実、町支臣成、稗田雄三、日比野俐

第48回日本癌治療学会学術集会

2010年10月28日～30日 京都府

(1) 転移性乳癌患者における、EPA強化濃厚流動食投与による免疫栄養療法の意義

三好和也、森田哲生、大濱 修、野村長久、岩垣博巳、稲垣 優、大塚真哉

第36回反応と合成の進歩シンポジウム

2010年11月1日～2日 名古屋市

(1) 9, 10-ジ置換ベンゾフェナンスリジン型アルカロイドの合成研究

石原裕介、東 修平、河野覚次郎、町支臣成、小野加奈子、堤 広之、石津 隆、日比野俐

第49回日本薬学会・日本薬剤師会 日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会

2010年11月6日～7日 米子市

(1) RCM反応を利用した新規カルバゾール類合成とMurrayaquinone合成への応用

西山卓志、町支臣成、日比野俐

(2) マイクロ波照射下での新規縮合ピリジン類の合成とその応用

林 香里、小田愛実、町支臣成、稗田雄三、日比野俐

(3) 9, 10-ジ置換ベンゾフェナンスリジン型アルカロイドの合成とその構造について

石原裕介、東 修平、河野覚次郎、町支臣成、小野加奈子、堤 広之、石津 隆、日比野俐

(4) Calothrixin誘導体の活性評価とインドロカルバゾール類の合成

宝来麻衣、松本考司、町支臣成、延広順子、稗田雄三、柄本晶子、座間味義人、佐々木健二、日比野俐

(5) 脳神経細胞保護作用を有するCarquinostatin類の全合成研究

稗田雄三、町支臣成、内田佳成、岸田早由利、藤岡晴人、日比野俐

(6) 複数の茶カテキン類とカフェインの錯体の立体化学構造解析

木下吉史、堤 広之、石津 隆

- (7) 夜間頻尿の症状改善を目指した六味丸の処方設計
松井絵未、橋本佳浩、平井俊明、塩谷咲千子、住田重明、福長将仁、岡村信幸、
佐藤英治、吉富博則
- (8) 広島県薬剤師会・IT特別委員会による「薬局業務の電子化についてのアンケート」の
集計と結果と今後の課題について
青野拓郎、有村健二、岡村信幸、高野幹久、田口勝英、谷川正之、豊見 敦、
野村祐仁、橋本洋子、原田修江、藤山りさ、三浦常代、村上信行、豊見雅文
- (9) メタボリックラットと対照ラット間におけるコレステロール含量と合成酵素の比較
神崎洋平、安部 葵、木下玄子、道原明宏、赤崎健司、安楽 誠、富田久夫
- (10) マウスメラノーマ中のメラニン含量と合成酵素に及ぼすトコフェロールの効果
小川沙貴、大島辰也、神崎洋平、道原明宏、赤崎健司
- (11) 高カロリー輸液中におけるオクトレオチドの配合変化および安定性に関する検討
妹尾典子、森田倫代、西谷沙織、中谷吏菜、山崎迪子、服部 聖、古屋憲次、
上敷領淳、古野浩二、杉原成美
- (12) メタボリックシンドロームモデルラットにおけるキトサンの抗酸化作用の定量的解析
安福 平、安楽 誠、小田切優樹、丸山 徹、近藤裕子、富田久夫
- (13) 骨芽細胞様細胞株MC3T3-E1の機能分化におけるセロトニン系薬物の影響
黒崎彰子、土谷大樹、木村優希、西尾廣昭

第118回日本薬理学会近畿部会

2010年11月19日 豊中市

- (1) トロンビンによる線条体障害を媒介する活性化ミクログリアにおけるMAPキナーゼの
役割
大西正俊、香月博志、井上敦子、泉 安彦、久米利明、赤池昭紀

第64回国立病院総合医学会

2010年11月26日～27日 福岡市

- (1) 転移性乳癌患者における、EPA強化濃厚流動食投与による免疫栄養療法の効果
三好和也、野村長久、森田哲生、大濱 修、岩垣博巳、稲垣 優、大塚真哉、
永 禮旬

第33回日本分子生物学会年会/第83回日本生化学会大会 合同大会

2010年12月7日～10日 神戸市

- (1) 初代培養ラット肝細胞におけるプラザシン刺激により惹起される肝性リパーゼ分泌のプ
ロテインキナーゼAによる制御
中村徹也、森田哲生
- (2) In Rat Dipeptidyl Peptidase III, His⁵⁶⁸ Is Essential for Catalysis, and Glu⁵⁰⁷ or Glu⁵¹² Stabilizes
the Coordination Bond between His⁴⁵⁵ or His⁴⁵⁰ and Zinc Ion. Dipeptidyl Peptidase III
Kayoko M Fukasawa, Junzo Hirose, Toshiyuki Hata, and Yukio Ono

(国際学会)

5th International Symposium on Macrocyclic @ Supramolecular Chemistry

June 6-10, 2010, Nara, Japan

- (1) Dibringed Bis(Zn²⁺-cyclen): A Novel Host Molecule of Malonate Dianion in Aqueous Solution

Haruto Fujoka, Sayuri Kishida, Yuzo Hieda, Takashi Ishizu, Motoo Shiro, Eiji Kinoshita, and Tohru Koike

ISER 2010 Meeting in Montreal

2010年6月13日—19日 Montreal (CANADA)

- (1) Effects of Timolol and Latanoprost on Human Carbonic Anhydrase I and II

Ikeda H, Sugimoto A, Tsukamoto H, Kihira K, Ishioka M, Hirose J, Hata T, Fujioka H, Ono Y

XXIVth European Colloquium on Heterocyclic Chemistry

August 23-27, 2010 Vienna, Austria

- (1) Nobiletin, A Polymethoxyflavonoid, Enhances Secretion of Adiponectin

Tsutomu Oikawa, Kazuhiro Kunimasa, Megumi Ikeda, Sachi Kuranuki, Nobuyasu Matsuura, Minoru Ishikura, and Satoshi Hibino

- (2) Improved Synthesis of the New Furo[3,2-*h*]isoquinoline Alkaloids TMC-120B and A, and Their Inhibitory Activities Against IFN- γ and IL-4 Production

Tominari Choshi, Tepei Kumemura, Yuzo Hieda, Haruto Fujioka, and Satoshi Hibino

- (3) Synthesis of Broussonpapyrine and Zanthoxyline Based on the Microwave-Assisted Electrocyclic Reaction of Aza 6 π -Electron System, and Their Structures

Satoshi Hibino, Shuhei Azuma, Yuhsuke Ishihara, Kanako Ono, Hiroyuki Tsutsumi, Takashi Ishizu, Kakujiro Kohno, and Tominari Choshi

7th Tannin Conference (Presymposium) and 58th International Congress and Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research

August 29~September 2, 2010 Berlin (Germany)

- (1) Stereochemical structure determination of complexes of tea catechins and caffeine

Takashi Ishizu

- (2) Stereochemical structure determination of complexes of (-)-gallic catechin-3-*O*-gallate and caffeine

Hiroyuki Tsutsumi, Takashi Sato, Takashi Ishizu

著 書

著書名 疎水化高分子, pp.180-190, 「難水溶性薬物の物性評価と製剤設計の新展開」,
川上亘作監修
著者名 金尾義治
出版社 シーエムシー
出版年月 2010年1月

著書名 進歩する薬物治療 DDS最前線 第2版
著者名 金尾義治
出版社 廣川書店
出版年月 2010年2月

著書名 メタボリックシンドロームの基礎知識
～生活習慣を改善する栄養指導・運動指導のために～
著者名 古野浩二、杉原成美
出版社 ふくろう出版
出版年月 2010年3月